

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2292100043		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム富士宮1F		
所在地	静岡県富士宮市佐折840		
自己評価作成日	令和5年9月30日	評価結果市町村受理日	令和5年12月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_022_kan=true&jirovoyocd=2292100043-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和5年10月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かな環境を活かし穏やかな雰囲気のもと、1人1人がご自分の過ごし方を決めていきます。個人の時間を大切に、その時間に自分がやりたい事を自己決定していただく事で、施設の画一的なサービスではなく、1人1人にあったサービスを提供しています。共有スペースでは音楽をかけリラックスできる環境を整備しています。全社的な取り組みとして、管理者・介護支援専門員・介護職員が変わっても同じケアができるようMCSケアモデルを構築し全職員への周知をはかっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

5類移行後も感染者数増加のニュースに地域交流の一步が踏み出しにくなっている状況ですが、ユニット外出企画では十里木高原や岩本山、白糸自然公園など多方面から情報収集した地域の名所で四季を満喫しています。記録の電子化による「見える化」と併せ、水分摂取や運動に力を入れ、生活リズムが整ったことから周辺症状も減少し、医師への情報提示で向精神薬や下剤が減った例もあります。「杖をどちらで持つかによって歩行に揺れが生じる」「杖は左、介助者は右側に立って支援する」といった具体的援助方法が記載された介護計画からも、こまやかな観察とケアに秀でた事業所であることがうかがえます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼での理念に基づく行動目標の宣言。夕礼での振り返りを行い、理念を意識したサービスの提供を行っています。	理念は事務所に掲示して周知し、行動目標としての表明と夕礼での振り返りで法人が目指す介護理念に沿ったケアを実践しています。介護計画作成の話し合いにおいて、職員からはその人らしい暮らしを意識した発言があることから、管理者は理念の浸透を感じています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	コロナ禍によりイベントへの参加機会は減少しています。 5類移行後は逆に感染流行の度合いがわかりづらく、積極的な参加は出来ていない状況です。	5類移行後は地域交流の再開を目指していましたが、感染者数増加のニュースに一歩が踏み出しにくくなっています。そんな中でも近隣住民との関わりは変わらず、散歩での挨拶をはじめ、広大な畑の作物収穫時には快く「好きだけ持って行っていいよ」の声がもらえています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ禍により交流の機会の減少はありますが、散歩時の挨拶など、コミュニケーションの機会を大切に繋がりを継続しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	5年4月の開催よりホームに集まって開催しております。 地域包括・市役所からの助言やご家族様からの意見をいただいています。	今年度より通常開催とし、「ホーム状況」として空室状況、感染症対策、面会、活動報告、職員状況を、「ご意見・ご要望」として行政、家族からの言葉が丁寧に綴られた会議録を視認しました。「写真だけでなく動画も見られたら～」という意見から、ブログの活用を進めています。	現在、会議への出席者が家族と行政に留まっているため、地域住民代表の出席が得られることを期待いたします。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	電話・メールでも可能な物も増えておりますが、各種提出物や報告書類など、直接持参する事により顔の見える関係性作りを行っています。	運営推進会議には毎回、市高齢者介護支援課、地域包括支援センター職員の出席があり、都度様々な助言がもらえています。運営指導では指摘事項はなかったものの、ファイリング方法や設置場所についてのアドバイスがあり、早々に着手しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3か月に1度の虐待チェック、身体拘束廃止委員会の開催を継続して行っております。 新入社員に対してもエリア合同で研修を行います。 本社データベースを使用し、漏れの無いように管理もされています。	委員会の定期開催、年2回の研修は滞りなく実施されています。「虐待、不適切ケア、身体拘束防止チェックシート」で日頃のケアを省みて委員会の検討事項に挙げ、言葉の選択を意識した「～される」といった敬語を使うことから、不適切ケアの撤廃を目指しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	3か月に1度の虐待チェック、身体拘束廃止委員会の開催を継続して行っております。 議事録を作成し全職員に周知しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常業務の中に接点の少ない分野になり、研修機会を設けていますが、経験することも少なくなっています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明を行っておりますが、専門用語を使わないよう心掛け、確認をとりながら進めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会の自粛が解除され、直接お話しできる機会が増え、伺っております。 なかなか足を運ばないご家族に関しても電話連絡し、日常の様子をお伝えすると共に意向の把握に努めています。	法人アンケート、運営推進会議を通じて外部者に意見を表す機会を設け、迅速に改善につなげています。本件に係るアンケートからは「良い事も悪いこともしっかり報告がある」「本人の気持ちを尊重してくれる」といった意見があり、事業所の真摯な姿勢が伝わります。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1対1の面談を、管理者、ユニットリーダーを中心にしています。 上長との面談の中でその意見・提案を吸い上げています。	月初めにフロアごとの担当者会議、月末に全体会議を開催し、ケア方針の統一や運営に関する協議まで広く話し合い、建物の老朽化には迅速な対応が図られています。個人面談は随時とし、会議の席で発言しにくい職員には個別で管理者が意見聴取をおこなっています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々人の意欲やモチベーションの把握に努め働きやすい環境の整備を行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社員専用の動画サイトでのeラーニング 徐々に内容も増え、困りごとの解決・救急時の対応等アップされています。 社外では富士宮市のGH部会の研修があります		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	富士宮市のGH部会の研修が年に2回あります		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様の言動を職員間で共有することにより、同じ様な対応をし混乱を生まないように心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	インテークにおいて困りごとや悩みを聞き出し、解決に向けた提案や取り組みの提案を行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	行動や言動から必要な支援を見極めご家族様の同意を得ながら介護計画を立てています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	季節の催しや昔ながらの風習など、教えられながら支援を行っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や毎月のお便りで生活の様子をお伝えしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍での制限がある中、お電話・Zoomなど使える手段を活用しています。 美容室・病院などの継続もお勧めしています。	事前連絡、体調確認を前提として時間、人数ともに面会は制限なしとなりましたが、マスク着用、共用部分・飲食を避けて場所は居室とし、感染予防対策は続けています。遠方の家族やひ孫と久しぶりに対面で会える喜びの音が響き、外泊して美容院に出かけた人もいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入る事で円滑なコミュニケーションが図れるように心がけています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も窓口を作り関係性の継続を行っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いや希望を汲み取れる機会を作っています。 寝る前の時間や個別での散歩など話を出来る機会も作っています。	就寝介助や入浴、散歩など利用者と一対一になった時に聞かれる心の言葉を介護記録に入力し、サービスに活かしています。ある利用者の何気ない一言をきっかけに、同一利用者に対する感情が職員の視点と異なることを知り、関係性の修復に役立てた例もあります。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様からの情報提供をまとめ、共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	細かな気づきを共有するとともに、月に1回の会議においても再確認し、介護計画に盛り込んでいます。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	会議において職員の意見を聞き、アイデアを纏めています。本人、ご家族の意向を踏まえた介護計画の作成をおこなっています。	日課計画表には「杖をどちらで持つかによって歩行に揺れが生じる」「杖は左、介助者は右側に立って支援する」「行く方向やこれからおこなうことをしっかり示す」といった具体的援助方法が記載され、日頃の丁寧な観察と記録への反映、チームケアの推進がうかがえます。	サービスの提供を担保する記録の重要性を再認識し、記録に関する個人差が解消されることを期待いたします。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	電子記録となり、全員で記録の共有を行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	細かな気づきを大事にし、共有することで、全職員が共同して支援を行えるように努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩時の会話、文化祭への参加などその方にあった社会資源の活用をできるよう努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の選択はご家族にお任せしています。 施設主治医は月2回の往診を含め医療ニーズに合った対応をお願いしています。	24時間連絡可能な協力医に全員が変更しています。月2回の訪問診療には看護師又は管理者が立ち会い、申し送りノートに必要事項を記載して情報共有しています。専門医は家族受診を基本とし、日々のバイタルや食事状況などを記した「情報提供書」を手渡しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	直接雇用にて1名確保し、24時間対応可能となっております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	医療機関との連絡を密にし入退院時の支援を行っています。 病院でのカンファレンスにもご家族と共に参加しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に指針についての同意を行い、必要に応じてその都度本人、ご家族の意向を確認しています。	重度化も進む中で看取りの事例も増え、この一年で4名をお見送りしています。勤務歴10年以上と3年以下という職員構成で、看取りの経験のない職員も多く、予想される状態変化を含めたこまめな申し送りと、落ち着いた対処ができる先輩職員の声かけで心得を学んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	会議において研修の機会を設けております。実際に対応した時の心理的ケアを行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の訓練や研修を行っています。 年々高まる災害に備え、備蓄品の中にポータブル電源なども追加しています。	消防署の立入検査では「消火器設置場所の再確認」「夜間は無理に外へ避難する必要はない。消防隊到着を待つ間、延焼の恐れのない一時待避場所を定め誘導する」など貴重なアドバイスがもらえています。本社基準でBCPが策定され、災害対策研修で学んでいます。	事業所の地域状況に合わせたBCPの見直しと周知、運用を期待いたします。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方にあった声掛けを行うように心がけています。 人によって言っはいけない声掛けの仕方なども共有し対応しています	プライバシーの取り扱いについては法人でも力を入れ、年間研修計画に位置づけています。職員には、業務内だけではなく業務外はもちろん仕事を変わっても守秘義務が課せられていることを説明し、利用者や家族について職場以外で話題とすることは控えるよう注意しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いや希望を汲み取れる機会を作っています。 寝る前の時間や個別での散歩など話を出来る機会も作っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合での介助にならないよう、会議・研修で意識付けしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替え、入浴の際に好みの衣類を選択できる機会を作ったり、お化粧品などを楽しむ機会を作っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	基本的には厨房職員が作成していますが、一緒に料理や片付けを楽しむ機会も作っています。	野菜を切る、皿を洗うといった役割をもち、おやつ作りが好きな利用者があるユニットでは毎週のようにチャレンジがおこなわれ、失敗作となったドーナツ作り、餡子を入れ忘れたどら焼きなど楽しいエピソードに包まれ、外食やドライブで甘味処を堪能するユニットもあります。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	MCS版自立支援を開始し、水分量や補食についての職員側の意識が高まっています。 電子記録になりデータが可視化され支援の幅が広がっています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	協力歯科医院の往診を行い、口腔ケアについての助言を受けています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	データの活用により、声掛けのタイミングや誘導を行っています。	水分摂取や運動で生活リズムを整え、記録の電子化による「見える化」も併せ、一人ひとりのパターンにあった声かけにより周辺症状が減少し、医師への情報提示で向精神薬や下剤が減った例もあります。日中はトイレでの排泄とし、職員2人介助による支援も励行されています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動・水分量に気を付け、薬に頼らない自然排便を目指しています。 オリゴ糖や寒天ゼリーなどの提供も行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本的には1～3日での交代での入浴支援となりますが、本人の希望を踏まえ回数の調整も行っています。	冬至にはオーナー宅の柚子の木目指して利用者と一緒に出かけ、もぎたての香りを楽しみながら浴槽に浮かべています。入浴拒否がある人には無理強いをせず、声かけのタイミングを見計らい、時間や人を替えて試しつつ、手浴・足浴も並行して清潔保持としています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その人に合った就寝時間を提供しています。夕食後の過ごし方も会話やTV、読書など希望に併せて支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別のファイルに薬の情報を入れ、誰もが確認できる状態にしています。 追加・中止の情報は直ぐに把握できるよう別に共有しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お手伝い・畑のようなお手伝いから、散歩・運動・趣味などそれぞれにあった楽しみを提供できるよう情報を集め提供しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	制限はありますが、人出の少ない場所などの情報を集めて、出かけています。	地域で手入れする彼岸花ロードの散策や、一周800mの散歩コースを歩く人など個々のペースに合わせて出かけています。ユニット外出企画では十里木高原のススキ、岩本山の梅や桜、ひまわり畑、白糸自然公園など、多方面から情報収集した地域の四季を満喫しています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には現金の所持はお断りしています。立替という形で一緒に出掛け買い物をする機会は無くさないよう支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望のある場合は制限することなく行って頂いています。電話をいただくこともあり、ゆっくりと会話を楽しめるよう支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日清掃を行い心地よく過ごしていただけるように心がけています。臭い・光・音なども留意して行っています。 1Fユニットではスピーカーを使いリラックスできる音楽を流しています。	業務フローの清掃には時間のめやすまで記載されており、個人差のない衛生環境となるよう工夫しています。スピーカーから流れる懐かしのメロディーや、映像で顧みる昭和のニュースや力士など、ゆったりとした時間の流れに身を任せるくつろぎの空間を醸し出しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う方同士で近くなるよう配置しています。 居室に移動することで独りの時間も作れるように制限は掛けずに過ごしていただきます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具やアルバムなど使い慣れたなじみの物を配置しています。アイドルのポスターや写真を飾る方もいらっしゃいます。	居心地よく過ごせる配慮として、ベッドメイキングに力を入れています。どの居室も起床後のベッドメイキングが慣行されていますが、自室に戻って起居を繰り返す人は、居室の寝具の乱れが混乱を招く材料とならないよう、職員が介入して整然とした状態を保っています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安心して生活頂けるよう、危険がないか常に確認し、危険な兆候があれば改善しています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2292100043		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム富士宮2F		
所在地	静岡県富士宮市佐折840		
自己評価作成日	令和5年9月30日	評価結果市町村受理日	令和5年12月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_022_kan=true&jirvosyoCd=2292100043-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室
所在地	静岡県静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	令和5年10月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かな環境を活かし穏やかな雰囲気のもと、1人1人がご自分の過ごし方を決めています。個人の時間を大切に、その時間に自分がやりたい事を自己決定していただく事で、施設の画一的なサービスではなく、1人1人にあったサービスを提供しています。共有スペースでは音楽をかけリラックスできる環境を整備しています。全社的な取り組みとして、管理者・介護支援専門員・介護職員が変わっても同じケアができるようMCSケアモデルを構築し全職員への周知をはかっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

5類移行後も感染者数増加のニュースに地域交流の一步が踏み出しにくくなっている状況ですが、ユニット外出企画では十里木高原や岩本山、白糸自然公園など多方面から情報収集した地域の名所で四季を満喫しています。記録の電子化による「見える化」と併せ、水分摂取や運動に力を入れ、生活リズムが整ったことから周辺症状も減少し、医師への情報提示で向精神薬や下剤が減った例もあります。「杖をどちらで持つかによって歩行に揺れが生じる」「杖は左、介助者は右側に立って支援する」といった具体的援助方法が記載された介護計画からも、こまやかな観察とケアに秀でた事業所であることがうかがえます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼での理念に基づく行動目標の宣言。 夕礼での振り返りを行い、理念を意識したサービスの提供を行っています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	コロナ禍によりイベントへの参加機会は減少しています。 5類移行後は逆に感染流行の度合いがわかりづらく、積極的な参加は出来ていない状況です。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ禍により交流の機会の減少はありますが、散歩時の挨拶など、コミュニケーションの機会を大切に繋がりを継続しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	5年4月の開催よりホームに集まって開催しております。 地域包括・市役所からの助言やご家族様からの意見をいただいています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	電話・メールでも可能な物も増えておりますが、各種提出物や報告書類など、直接持参する事により顔の見える関係性作りを行っています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3か月に1度の虐待チェック、身体拘束廃止委員会の開催を継続して行っております。 新入社員に対してもエリア合同で研修を行います。 本社データベースを使用し、漏れの無いように管理もされています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	3か月に1度の虐待チェック、身体拘束廃止委員会の開催を継続して行っております。 議事録を作成し全職員に周知しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常業務の中に接点の少ない分野になり、研修機会を設けていますが、経験することも少なくなっています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明を行っておりますが、専門用語を使わないよう心掛け、確認をとりながら進めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会の自粛が解除され、直接お話しできる機会が増え、伺っております。 なかなか足を運ばないご家族に対しても電話連絡し、日常の様子をお伝えすると共に意向の把握に努めています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1対1の面談を、管理者、ユニットリーダーを中心に行っています。 上長との面談の中でその意見・提案を吸い上げています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々人の意欲やモチベーションの把握に努め働きやすい環境の整備を行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社員専用の動画サイトでのeラーニング徐々に内容も増え、困りごとの解決・救急時の対応等アップされています。 社外では富士宮市のGH部会の研修があります		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	富士宮市のGH部会の研修が年に2回あります		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様の言動を職員間で共有することにより、同じ様な対応をし混乱を生まないように心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	インテークにおいて困りごとや悩みを聞き出し、解決に向けた提案や取り組みの提案を行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	行動や言動から必要な支援を見極めご家族様の同意を得ながら介護計画を立てています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	季節の催しや昔ながらの風習など、教えられながら支援を行っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や毎月のお便りで生活の様子をお伝えしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍での制限がある中、お電話・Zoomなど使える手段を活用しています。 美容室・病院などの継続もお勧めしています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入る事で円滑なコミュニケーションが図れるように心がけています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も窓口を作り関係性の継続を行っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いや希望を汲み取れる機会を作っています。 寝る前の時間や個別での散歩など話を出来る機会も作っています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様からの情報提供をまとめ、共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	細かな気づきを共有するとともに、月に1回の会議においても再確認し、介護計画に盛り込んでいます。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	会議において職員の意見を聞き、アイデアを纏めています。本人、ご家族の意向を踏まえた介護計画の作成をおこなっています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	電子記録となり、全員で記録の共有を行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	細かな気づきを大事にし、共有することで、全職員が共同して支援を行えるように努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩時の会話、文化祭への参加などその方にあつた社会資源の活用をできるように努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の選択はご家族にお任せしています。 施設主治医は月2回の往診を含め医療ニーズに合った対応をお願いしています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	直接雇用にて1名確保し、24時間対応可能となっております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	医療機関との連絡を密にし入退院時の支援を行っています。 病院でのカンファレンスにもご家族と共に参加しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に指針についての同意を行い、必要に応じてその都度本人、ご家族の意向を確認しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	会議において研修の機会を設けております。 実際に対応した時の心理的ケアを行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の訓練や研修を行っています。 年々高まる災害に備え、備蓄品の中にポータブル電源なども追加しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方にあった声掛けを行うように心がけています。 人によって言うてはいけない声掛けの仕方なども共有し対応しています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いや希望を汲み取れる機会を作っています。 寝る前の時間や個別での散歩など話を出来る機会も作っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合での介助にならないよう、会議・研修で意識付けしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替え、入浴の際に好みの衣類を選択できる機会を作ったり、お化粧品などを楽しむ機会を作っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	基本的には厨房職員が作成していますが、一緒に料理や片付けを楽しむ機会も作っています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	MCS版自立支援を開始し、水分量や補食についての職員側の意識が高まっています。 電子記録になりデータが可視化され支援の幅が広がっています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	協力歯科医院の往診を行い、口腔ケアについての助言を受けています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	データの活用により、声掛けのタイミングや誘導を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動・水分量に気を付け、薬に頼らない自然排便を目指しています。 オリゴ糖や寒天ゼリーなどの提供も行っていきます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本的には1～3日での交代での入浴支援となりますが、本人の希望を踏まえ回数の調整も行っていきます。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その人に合った就寝時間を提供しています。 夕食後の過ごし方も会話やTV、読書など希望に併せて支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別のファイルに薬の情報を入れ、誰もが確認できる状態にしています。 追加・中止の情報は直ぐに把握できるよう別に共有しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お手伝い・畑のようなお手伝いから、散歩・運動・趣味などそれぞれにあった楽しみを提供できるよう情報を集め提供しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	制限はありますが、人出の少ない場所などの情報を集めて、出かけています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には現金の所持はお断りしています。立替という形で一緒に出掛け買い物をする機会は無くさないよう支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望のある場合は制限することなく行って頂いています。電話をいただくこともあり、ゆっくりと会話を楽しめるよう支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日清掃を行い心地よく過ごしていただけるように心がけています。臭い・光・音なども留意して行っています。 1Fユニットではスピーカーを使いリラックスできる音楽を流しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う方同士で近くなるよう配置しています。 居室に移動することで独りの時間も作れるように制限は掛けずに過ごしていただきます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具やアルバムなど使い慣れたなじみの物を配置しています。アイドルのポスターや写真を飾る方もいらっしゃいます。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安心して生活頂けるよう、危険がないか常に確認し、危険な兆候があれば改善しています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2292100043		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム富士宮3F		
所在地	静岡県富士宮市佐折840		
自己評価作成日	令和5年9月30日	評価結果市町村受理日	令和5年12月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_022_kan=true&jirovoyocd=2292100043-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室
所在地	静岡県静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	令和5年10月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かな環境を活かし穏やかな雰囲気のもと、1人1人がご自分の過ごし方を決めています。個人の時間を大切に、その時間に自分がやりたい事を自己決定していただく事で、施設の画一的なサービスではなく、1人1人にあったサービスを提供しています。共有スペースでは音楽をかけリラックスできる環境を整備しています。全社的な取り組みとして、管理者・介護支援専門員・介護職員が変わっても同じケアができるようMCSケアモデルを構築し全職員への周知をはかっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

5類移行後も感染者数増加のニュースに地域交流の一步が踏み出しにくなっている状況ですが、ユニット外出企画では十里木高原や岩本山、白糸自然公園など多方面から情報収集した地域の名所で四季を満喫しています。記録の電子化による「見える化」と併せ、水分摂取や運動に力を入れ、生活リズムが整ったことから周辺症状も減少し、医師への情報提示で向精神薬や下剤が減った例もあります。「杖をどちらで持つかによって歩行に揺れが生じる」「杖は左、介助者は右側に立って支援する」といった具体的援助方法が記載された介護計画からも、こまやかな観察とケアに秀でた事業所であることがうかがえます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼での理念に基づく行動目標の宣言。 夕礼での振り返りを行い、理念を意識したサービスの提供を行っています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	コロナ禍によりイベントへの参加機会は減少しています。 5類移行後は逆に感染流行の度合いがわかりづらく、積極的な参加は出来ていない状況です。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ禍により交流の機会の減少はありますが、散歩時の挨拶など、コミュニケーションの機会を大切に繋がりを継続しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	5年4月の開催よりホームに集まって開催しております。 地域包括・市役所からの助言やご家族様からの意見をいただいています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	電話・メールでも可能な物も増えておりますが、各種提出物や報告書類など、直接持参する事により顔の見える関係性作りを行っています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3か月に1度の虐待チェック、身体拘束廃止委員会の開催を継続して行っております。 新入社員に対してもエリア合同で研修を行います。 本社データベースを使用し、漏れの無いように管理もされています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	3か月に1度の虐待チェック、身体拘束廃止委員会の開催を継続して行っております。 議事録を作成し全職員に周知しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常業務の中に接点の少ない分野になり、研修機会を設けていますが、経験することも少なくなっています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明を行っておりますが、専門用語を使わないよう心掛け、確認をとりながら進めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会の自粛が解除され、直接お話しできる機会が増え、伺っております。 なかなか足を運ばないご家族に対しても電話連絡し、日常の様子をお伝えすると共に意向の把握に努めています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1対1の面談を、管理者、ユニットリーダーを中心に行っています。 上長との面談の中でその意見・提案を吸い上げています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々人の意欲やモチベーションの把握に努め働きやすい環境の整備を行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社員専用の動画サイトでのeラーニング 徐々に内容も増え、困りごとの解決・救急時の対応等アップされています。 社外では富士宮市のGH部会の研修があります		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	富士宮市のGH部会の研修が年に2回あります		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様の言動を職員間で共有することにより、同じ様な対応をし混乱を生まないように心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	インテークにおいて困りごとや悩みを聞き出し、解決に向けた提案や取り組みの提案を行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	行動や言動から必要な支援を見極めご家族様の同意を得ながら介護計画を立てています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	季節の催しや昔ながらの風習など、教えられながら支援を行っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や毎月のお便りで生活の様子をお伝えしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍での制限がある中、お電話・Zoomなど使える手段を活用しています。 美容室・病院などの継続もお勧めしています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入る事で円滑なコミュニケーションが図れるように心がけています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も窓口を作り関係性の継続を行っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いや希望を汲み取れる機会を作っています。 寝る前の時間や個別での散歩など話を出来る機会も作っています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様からの情報提供をまとめ、共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	細かな気づきを共有するとともに、月に1回の会議においても再確認し、介護計画に盛り込んでいます。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	会議において職員の意見を聞き、アイデアを纏めています。本人、ご家族の意向を踏まえた介護計画の作成をおこなっています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	電子記録となり、全員で記録の共有を行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	細かな気づきを大事にし、共有することで、全職員が共同して支援を行えるように努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩時の会話、文化祭への参加などその方にあった社会資源の活用をできるよう努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の選択はご家族にお任せしています。 施設主治医は月2回の往診を含め医療ニーズに合った対応をお願いしています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	直接雇用にて1名確保し、24時間対応可能となっております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	医療機関との連絡を密にし入退院時の支援を行っています。 病院でのカンファレンスにもご家族と共に参加しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に指針についての同意を行い、必要に応じてその都度本人、ご家族の意向を確認しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	会議において研修の機会を設けております。 実際に対応した時の心理的ケアを行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の訓練や研修を行っています。 年々高まる災害に備え、備蓄品の中にポータブル電源なども追加しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方にあった声掛けを行うように心がけています。 人によって言うてはいけない声掛けの仕方なども共有し対応しています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いや希望を汲み取れる機会を作っています。 寝る前の時間や個別での散歩など話を出来る機会も作っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合での介助にならないよう、会議・研修で意識付けしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替え、入浴の際に好みの衣類を選択できる機会を作ったり、お化粧品などを楽しむ機会を作っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	基本的には厨房職員が作成していますが、一緒に料理や片付けを楽しむ機会も作っています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	MCS版自立支援を開始し、水分量や補食についての職員側の意識が高まっています。 電子記録になりデータが可視化され支援の幅が広がっています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	協力歯科医院の往診を行い、口腔ケアについての助言を受けています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	データの活用により、声掛けのタイミングや誘導を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動・水分量に気を付け、薬に頼らない自然排便を目指しています。 オリゴ糖や寒天ゼリーなどの提供も行っていきます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本的には1～3日での交代での入浴支援となりますが、本人の希望を踏まえ回数の調整も行っていきます。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その人に合った就寝時間を提供しています。 夕食後の過ごし方も会話やTV、読書など希望に併せて支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別のファイルに薬の情報を入れ、誰もが確認できる状態にしています。 追加・中止の情報は直ぐに把握できるよう別に共有しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お手伝い・畑のようなお手伝いから、散歩・運動・趣味などそれぞれにあった楽しみを提供できるよう情報を集め提供しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	制限はありますが、人出の少ない場所などの情報を集めて、出かけています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には現金の所持はお断りしています。立替という形で一緒に出掛け買い物をする機会は無くさないよう支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望のある場合は制限することなく行って頂いています。電話をいただくこともあり、ゆっくりと会話を楽しめるよう支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日清掃を行い心地よく過ごしていただけるように心がけています。臭い・光・音なども留意して行っています。 1Fユニットではスピーカーを使いリラックスできる音楽を流しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う方同士で近くになるよう配置しています。 居室に移動することで独りの時間も作れるように制限は掛けずに過ごしていただきます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具やアルバムなど使い慣れたなじみの物を配置しています。アイドルのポスターや写真を飾る方もいらっしゃいます。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安心して生活頂けるよう、危険がないか常に確認し、危険な兆候があれば改善しています。		